

新型コロナウイルス影響下での GCI の授業方法について

2020 年 4 月 17 日

GCI センター長 小林 剛史

本学では新型コロナウイルス対策会議を既に 10 回程度行い、2020 年度新学期の授業方法に現状に合わせて随時更新しています。既にお伝えしているように、授業開始は 5 月 7 日の予定です。新型コロナウイルスの動向によりますが、しばらくの間、5 月 7 日以降については、教室では授業を行わず、インターネット環境を用いたオンライン授業、なかでもオンデマンド授業（動画配信オンデマンド型、資料配信型など）を行っていただきたく、お願い申し上げます。GCI の性格上、ライブ授業が避けられない科目もあります。こうした科目は、教員側の判断で、ライブ授業を展開していただくことを妨げるものではありませんが、大学の方針としては、現状ではオンデマンド授業を推奨しているものとご理解ください。

録画配信、資料配布型によるオンライン授業では、教員があらかじめ教材を提示しておき、学生が教員から指示された予定に合わせて学習します。これは、ある程度、教員側の柔軟なスケジューリングに基づいた準備・実行・評価、そして学生の自由な時間での学習（予習・復習を含む）が可能であるように見受けられます。しかし、原則として、学生には時間割通りに授業履修スケジュールを組んでもらうことを前提に、授業計画を進めていただきたいと考えております。具体的な例としては、時間割に組まれている時間帯（あるいはその週のみ）に限定して資料や課題を提示したり、当該時間帯に Forms を用いて学生にいくつか質問をする、といった方法があります。このように、学生に、規則正しく授業計画を組んでもらい、課題提出が間に合わなくなったり、また課題が山積してモチベーションを失うことのないよう、ご留意いただければ幸甚です。学生も当初は Teams を用いた授業に慣れず、教員側の慣れの程度と相まって、スムーズに授業運営ができないことも想定されます。当初はこうした混乱は避けられないものと推測します。GCI では可能な範囲でこうした事態に柔軟に対応していきたいと考えておりますが、まずは教員側がオンライン授業の運営にできるだけ速やかに慣れていただきますよう、お願い申し上げます。

学年暦については、外国語・経営・人間学部の授業方針に準じます（保健医療技術学部は一部授業開始時期が異なります）。すなわち、前期については 5 月 7 日に授業を開始し、13 週の授業回数となりますが、残りの 2 週分はそれに見合うレポートなどの課題で置き換えることが可能です。しかし、シラバスに「レポートなどの課題を成績評価に加味する」といった内容が記載されていない場合、シラバス内容の変更箇所について、学生に対して説明する必要があります。まずは初回等の授業において、当初のシラバスからの変更点について説明する資料を提示する、パワーポイントファイルに音声をのせて説明する、等の措置を講じていただけますと幸甚です。

2020 年度開始早々、先生方にお願ひばかりでたいへん恐縮ですが、ぜひともご協力賜りますよう、お願い申し上げます（なお、本文は、教学担当福井副学長の文書をベースに作成しています。）

以上